

全労金2022春季生活闘争ニュース・第26号

～めざそう賃金改善！進めようジェンダー平等！団結しよう、みんなの春闘！～

《合意速報No. 2》

北海道労組が金庫との団体交渉で、「基本合意」を表明しました！

北海道労組は、3月17日9時30分から、金庫と「団体交渉」を開催し、基本合意を表明しました。要求と回答は以下の通りです。

	要 求（金庫）				回 答（金庫）			
	正職員	パートナー(P3)	パートナー(P1P2)	シニア・パートナー 嘱託職員	正職員	パートナー(P3)	パートナー(P1P2)	シニア・パートナー 嘱託職員
基本賃金	高卒・短大卒Nコース 定昇間差の見直し 大卒初任の引き上げ	定昇調整点の廃止		定昇の累積	高卒・短大卒N コース定昇間差 の見直し	要求通り		要求通り
一時金	4.7	2.0	1.2	—	4.7	2.0	1.2	—
昨年実績	4.7	2.0	1.2	—	4.7	2.0	1.2	—
安定雇用	無期転換	(実現)		—	—	(実現)		—
	登用制度	(実現)		—	—	(実現)		—
最低賃金	時間額1,030円、日額7,550円、 月額158,600円への引き上げ				要求通り 時間額1,030円、日額7,550円、月額158,600円			
雇用環境	私傷病休職	(実現)		—	—	(実現)		—
	育児時短	小学校卒業まで		—	小学校4年生まで			
	ハラスメント	(実現)		—	(実現)			
単組独自要求	借上住宅借料 の引き上げ	同一労働同一賃金への対応			継続協議	要求通り		
関連会社	雇用環境の整備に向けた申入書を提出 (無期雇用転換権は実現)				申し入れを受け入れる回答 (無期雇用転換権は実現)			

《金庫の発言概要》

- 2022春季生活闘争についても昨年同様、新型コロナウイルスがまん延・長期化している中での交渉となったが、労使間の真摯な交渉の積み上げにより、合意ができたと思っており、感謝申し上げたい。
- 継続協議となった課題や応じられない課題、人事・賃金制度協議で検討していく課題等もあることから、今後も継続した協議をお願いしたい。
- 金庫を含む金融機関の取り巻く環境は、低金利の継続、新型コロナウイルス感染症への対応、そして、ウクライナ情勢による経済制裁等の影響が今後も予測される。経営に関わる課題については、引き続き、経営協議会の中で議論していきたいと考えている。労組からも忌憚のない意見をお願いしたい。

- 連合や北労金労組が唱える「公正で持続可能な社会を実現していく」ためには、「人への投資」が必要であることは共通の認識である。
- これらの環境から、福祉金融機関としての役割が引き続き求められる。会員・組合員のためにぜひ頑張っていきたいと考える。北海道労金が、持続可能な組織として、益々発展していかなければならない。お互い頑張っていこう。

《奥井闘争委員長の発言概要》

- 日頃から、組合員・職員の生命と健康、そして雇用を最優先とした、金庫経営をいただいていることに、改めて、敬意を表する。
- 労働組合からの要求に対する回答に向け、真摯に交渉いただいたことや、組合員の2021年度の頑張りに報いるために、全要求項目を、真正面から受け止めていただき、厳しい金融情勢において、すべての要求に対し、熟慮の上、誠意ある回答をいただいた。また、回答内容は、今年度の頑張りに報いるものだけでなく、新年度・未来に向け、組合員に大きな期待を込めた、金庫経営陣からのメッセージであると認識している。
- 年間一時金の回答は、2023年度以降の考え方や支給原資に係る参考指標の構築について協議を開始することが条件となったが、厳しい収益状況が今後も想定される中で、金庫の考えとして、未来に向けた経営・雇用を守るための重要な協議であること、業績連動のみで自動的に決めるのではなく、引き続き協議・交渉を踏まえ、春季生活闘争で判断すること等を、全体で共有・確認し、本日の妥結に至った。
- 新年度は、次期中期経営計画をスタートする年度となる。各種目標の達成に向け、全組合員が努力を惜しまず、労使が一丸となって金庫の事業計画を進めていくことを、改めて表明する。今後も連合に集う仲間や労働組合の社会的役割、そして全国の労金業態で働く仲間との共闘・連帯を常に意識しながら、運動を展開していくこととあわせて、新年度からも、福祉金融機関としての社会的役割を担う、北海道労働金庫職員の一員として、組合員が一丸となり「ろうきん運動」を展開していくことを約束する。

単組は、一部原資を伴う回答を引き出すことができたことについて、金融機関を取り巻く環境が依然として厳しい状況、かつ、コロナ禍による影響が今後も懸念される中において、金庫経営者からの組合員の今年度の頑張りに報い、次年度・未来への期待を踏まえたメッセージであると受け止めたこと、等から基本合意を表明しました。

*合意単組（2単組／3月17日14時現在）
沖縄・北海道

以 上